

県西教育事務所だより

未来に向かって 高い志を持ち たくましく生きぬく 人づくり

「学校に元気を 先生方に自信と勇気とやる気を 子どもたちに夢と生きる力を」 平成29年11月14日発行（第7号）

教員の授業力向上を目指して

平成29年度学力向上推進プロジェクト事業に係る授業力ブラッシュアップ研修国語科重点校、協力校、算数・数学科重点校、協力校の授業発表会を通して、管内の授業力の向上を図っています。

これまでに、以下の重点校3校、協力校1校の授業発表会を行いました。

11月1日(水) 結城市立結城小学校(国語科重点校) 11月2日(木) 下妻市立下妻中学校(数学科重点校)

11月7日(火) 常総市立岡田小学校(算数科重点校) 11月8日(水) 筑西市立新治小学校(国語科協力校)

それぞれの学校では、「単元計画と評価計画の工夫」、「目的を明確にした交流活動をするための工夫」など様々な取組が見られ、児童生徒が生き生きと活動していました。また、授業参観後には「本時の授業を、自校の実態を踏まえて改善するとしたら、どこをどのように工夫するのか」をテーマに研究協議を行っています。各学校では、参加された先生方が学んだことを全職員に広めるための校内研修等を行い、授業力向上を目指しましょう。

今後の授業発表会の予定は以下のとおりです。

11月16日(木) 古河市立古河第七小学校(算数科協力校) 11月30日(木) 五霞町立五霞中学校(国語科協力校)

なお、重点校、協力校の取組の詳細については「県西教育事務所だより(12月号)」に掲載しますので、校内研修の資料として積極的に御活用ください。

いじめ・不登校の未然防止に向けて —古河市立三和東中学校の取組から—

○ 「いじめストップ!絆づくりプロジェクト推進モデル事業」(三和東中・名崎小)

10月21日(土)に古河市立三和東中学校で「いじめストップ!絆づくりプロジェクト事業」の一環として、「思いやりフォーラム」が開催されました。「SNSでのやりとりが、いじめなどのトラブルを起こすのはなぜか?」というテーマで、パネルディスカッションを行いました。SNS上でのいじめの怖さや、いじめを生まないために心がけることについて考えることができました。

以下のいじめ防止スローガンを掲げ、いじめゼロを目指して全員で取り組むことを確認しました。

三和東中: それでいい?自分がされても見過ごせる?

名崎小: 「やめようよ」その一言で いじめ0

スローガンについては10月28日(土)の「名崎小フェスタ」でも発表され、小中学校が連携して【パネルディスカッションの様子】

○ 不登校の解消・未然防止に向けた組織的な生徒指導の推進

「足でかせぐ・心で寄り添う生徒指導」をモットーに、積極的な家庭訪問により生徒や保護者との信頼関係を深めながら、不登校の解消と未然防止に取り組んでいます。まず、学校不適応傾向の見られる生徒に対して、毎週実施する「生徒指導・特別支援部会」で現状を確認します。次に、職員やスクールカウンセラー等と一緒に対応策を検討し、一人一人の状況に合った「個別プログラム」を作成します。そして、保護者に理解を得た上で、部分登校等の「スモールステップ」を踏んだ登校支援を行っています。これらの取組により、不登校生徒が確実に減少し、特に10月末現在1年生は0名と素晴らしい成果を上げています。

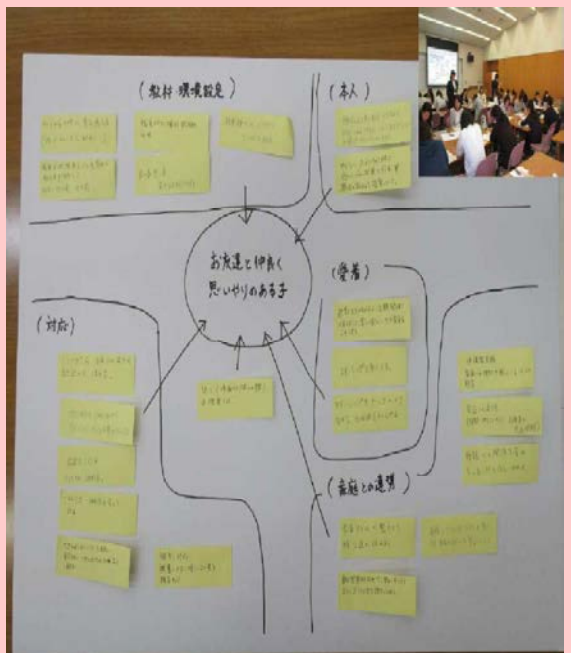
一人一人を大切にされた教育・保育の在り方 インシデント・プロセス法による事例検討会

10月18日(水)に県西生涯学習センターで保育技術協議会が実施されました。その中でインシデント・プロセス法による事例検討会が紹介されました。各小中学校で、短時間で行える事例検討会ですので、校内研修の参考資料としてご活用ください。

インシデント・プロセス法による事例検討の進め方

インシデント・プロセス法による事例検討 インシデント(実際に起こった出来事)をもとに、参加者が事例提供者に質問することで出来事の背景や原因となる情報を収集し、問題解決の方策を考えていく ①事例提供者を決める。 ②インシデント(出来事)の提示 インシデント(一番困っている出来事)を発表する 2分	インシデント・プロセス法による事例検討 ③事実・情報の収集 参加者 参加者 事例提供者 参加者 その子が興味を示すことは何ですか? 質問されたことのみ答える 5分
インシデント・プロセス法による事例検討 ④個人で支援策を検討 1枚1つの支援策 もし、自分が関わるとしたらいつ、誰か、何をするか 明日からできそうなこと 7分	インシデント・プロセス法による事例検討 ⑤グループで支援策を検討 3.0000 目指す姿 6.0000 ⑥まとめ 23分

事例提供者が困っていることに対して、参加者が事例提供者に質問し、出来事の背景や原因となる情報を収集することから事例検討会がはじまりました。問題解決の方法を周囲と連携して考えていくことで、問題行動が起きたときの対処的な指導ではなく、問題行動が起こる背景の改善を中心に話が進められました。見通しのもとせ方はどうすべきか、肯定的な言葉かけをいつどのように行うか、活動の量や時間への配慮をどうすべきか、環境(人的・物的)を整備し、保護者にも理解協力を得るために何が出来るか等、参加者の先生方が、園児の困り感を理解し、適切な行動ができるようにするための支援策が出されました。学校の課題解決のための具体的な方策を検討する上で、有効な方法となりますので参考にしてください。



【事例検討会で実際に使った協議シート】

事例提供者が困っていることに対して、参加者が事例提供者に質問し、出来事の背景や原因となる情報を収集することから事例検討会がはじまりました。問題解決の方法を周囲と連携して考えていくことで、問題行動が起きたときの対処的な指導ではなく、問題行動が起こる背景の改善を中心に話が進められました。見通しのもとせ方はどうすべきか、肯定的な言葉かけをいつどのように行うか、活動の量や時間への配慮をどうすべきか、環境(人的・物的)を整備し、保護者にも理解協力を得るために何が出来るか等、参加者の先生方が、園児の困り感を理解し、適切な行動ができるようにするための支援策が出されました。学校の課題解決のための具体的な方策を検討する上で、有効な方法となりますので参考にしてください。

【シリーズ「授業の中での人づくり」⑥】 ～長峯寺由香里教諭（結城市立城南小学校）の実践～

結城市立城南小学校では、目指す児童の姿を「夢に向かって 自ら学び続け 心豊かでたくましく生きる城南の子を育てる」とし、日々の教育活動に取り組んでいます。長峯寺 由香里教諭は、図工の授業を中心に、児童が自分で考えたことや、思ったことを「表現できた!」という喜びの育成を目指し指導にあたっています。

【一手間一工夫のポイント】 ～『納得解』を実感できる授業とするためのポイント～

【実践例】 第3学年 図画工作科

まほうをかけて大へんしん!!

目標 : 使わなくなったものを、見方を変えて、ちがうものに変身させることができる。

①発想 : 児童自ら表現したい形＝主題を考え、決定することで、主体的・創造的な表現活動になるように題材を設定する。

家で使わなくなったものを持ち寄り、そこから生まれ変わりそうな形を考える。



④ふりかえり : 自分の活動をふりかえり、作品に込めた思いを言葉にし、言語活動を取り入れる。

自分の活動をふりかえり、作品に込めた思いを表現する。

②活動 : 授業の流れを視覚的な資料で表した板書構成にして、見通しをもって活動できるようにする。

材料に触れ、試行錯誤しながら、形を変えたり、組み合わせを変えたりしながら、自分の表現したい形に表現していく。



③鑑賞 : 活動の途中に、鑑賞タイムを設定し、友達の作品をみたり、質問したりする機会を設け、作品について意見を交流させる。

仕上がった作品について、また、仕上がるまでに工夫したことやこだわったところなどを伝え合う。

【長峯寺教諭から】

「図工の授業を通して表現活動」に取り組む児童の姿から、図画工作科は自分のよさを発見できる教科であると考えます。児童が、どんどん広がる発想を形にするために、自ら考え、行動する様子は、教育の原点を見とれる教科であると感じます。

今後も児童が主体的に創作活動ができる環境をつくり、「夢に向かって 自ら学び続け 心豊かでたくましく生きる城南の子を育てる」ため、それぞれの学年の実態にあった授業づくりに取り組んでいきたいと思ひます。

【総務課からのお知らせ】

年末調整について

「年末調整」は、給与の支払いを受ける人、一人一人について、毎月の給料や賞与等の支払いの際に源泉徴収した税額と、その年の給与の総額に対して納めなければならない税額(年税額)とを比べて、その過不足額を精算する手続きです。

勤務校において、年末調整事務処理を行う上で「給与所得者の扶養控除等(異動)申告書」や「給与所得者の保険料控除申告書兼給与所得者の配偶者特別控除申告書」等の提出が必要となります。申告には証明書類の貼付が必要となります。申告漏れがないよう願ひます。

信頼される学校づくりのために 【服務規律の徹底：わいせつ行為の根絶】

教育は子供の人格の完成を目指すものであり、教師の人格そのものが、子供の人格形成に大きな影響を与えます。

【わいせつ行為を防止して、子供・自分・同僚を守るチェックポイント】

	項目
1 <input type="checkbox"/>	児童生徒や保護者と携帯電話の番号や、メールアドレス等を簡単に交換していないか。(個人的なやりとりをしていないか)
2 <input type="checkbox"/>	児童生徒と1対1の閉鎖的な空間をつくっていないか。(密室になっていないか。)
3 <input type="checkbox"/>	児童生徒に刺激を与えるような服装をしていないか。
4 <input type="checkbox"/>	過剰に好意を抱かせるような言動をしていないか。
5 <input type="checkbox"/>	酒を飲んで記憶をなくした(所々、覚えていない)ことがないか。
6 <input type="checkbox"/>	相手が許さだろうと勝手に判断して行動していないか。

(平成29年10月2日緊急市町村教育委員会教育長・学校長会議資料より)

【交通事故・交通違反の未然防止】 10月5日、交通死亡事故多発 全県警報発令

□時間的な余裕もった出勤と退勤 □休日における車の安全走行 □こまめに車のライトの上下切替

【教員免許更新手続きの確認】

□現在の氏名及び本籍地が、免許記載のものとは異なる場合は、個人事項証明書を添付

□免許状の記号番号は記載とおりに、[0]もきちんと記載